

政策コメンテーター報告（第 3 回）

【ご記入にあたって】

- ・ 特に主張されたいご意見がある問について、重点的にお答え下さい。（必ずしも全ての問にお答え頂く必要はございません。）
- ・ 関連する業界、地域等の現状や、ご自身（自社）の知見・経験・取組等についても積極的に記述をお願いします。

テーマ 1：来年秋を見据えて、現在の景気の基調について

2015年10月に予定されている消費税率10%への引上げについては、「税制抜本改革法」にのっとり、経済状況等を総合的に勘案して、2014年中に判断を行うこととなっています。経済財政諮問会議では、経済状況等の総合的な勘案に向けて必要な検討を行うため、その参考として以下の点についてお伺いします。

（質問 1）

9月16日の経済財政諮問会議において、2015年秋を見据えて、現在の景気の基調を見る際、以下の5項目について今後注視すべきとされました。これらを参考に、現在の景気の基調や考慮すべきリスクをどうご覧になっているか、また、とるべき対応があれば、合わせて300字以内でご記入ください。

- ① 消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃金の伸び（正規比率の上昇を含め）や消費マインド
- ② 企業収益の動向、民間設備投資の強さ（設備投資計画の動向も含む）
- ③ 輸出入の動向、交易条件の動向
- ④ 物価動向（一時的要因を除いた実勢と期待物価）
- ⑤ マーケット（株価、為替、金利等）の動向

300字以内で回答してください。目安としては、9行程度となっております。

テーマ 2：地方創生・地域活性化について

地方では、景気回復の実感が届いていないとの声や、経済の好循環の実現に向けた動きが都市部よりも遅れているとの声があります。政府としては、経済財政運営と改革の基本方針2014（平成26年6月24日閣議決定）において、地域産業を活性化し、地域経済での好循環の実現を図ることとしています。また、まち・ひと・しごと創生本部でも、人口減少・超高齢化という危機的な現実を直視しつつ、次元の異なる大胆な政策を力強く実行していくこととしています。

（参考）「基本方針」（平成26年9月12日まち・ひと・しごと創生本部決定）における検討項目

- ①地方への新しいひとの流れを作る
- ②地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る
- ⑤地域と地域を連携する

(質問 2)

地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身（自社）の知見・経験も踏まえてお考えを 300 字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。

300 字以内で回答してください。目安としては、9 行程度となっております。

その他

(質問 3)

10 月下旬の為替相場は 107 円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば 300 字以内でご記入ください。

300 字以内で回答してください。目安としては、9 行程度となっております。

以 上

氏名（こちらに氏名をご記入下さい。_____）